

第 3 章

豊かで活力と魅力にあふれるまち



【3-1 農業振興】

- 3-1-1 持続可能な農業基盤づくり
- 3-1-2 次世代につなぐ農業

【3-2 林業】

- 3-2-1 林業基盤の整備と連携強化

【3-3 商工業・雇用】

- 3-3-1 企業基盤づくりの支援と労働環境改善
- 3-3-2 新たなチャレンジを応援する（創業支援）
- 3-3-3 企業団地の既存企業の支援、誘致

【3-4 観光】

- 3-4-1 観光資源の再構築と活用促進

【3-5 消費者行政】

- 3-5-1 消費者支援と教育の強化

◆基本目標の概要説明

地域産業の振興を図り、安定した雇用を確保するとともに、魅力ある観光地域づくりを進めます。また、地域資源を生かした特産品の開発や農業の担い手の育成等に取り組み、地域産業の強化と活性化を図ります。さらに、企業誘致や創業支援など、地域経済の発展に寄与する取組を進め、豊かで活力と魅力にあふれるまちを目指します。

①現状と課題

農業・林業・工業・商業・観光など各産業において、前期計画では一定の成果が見られ、品質向上やネットワーク強化に取り組んできました。産業ごとに成長のスピードに違いが見られ、商業や観光分野では、今後さらに魅力を高めていける余地があります。

町民意見でも、飲食店や買い物場所が少ない、集まれる場所が足りないといった声が挙がっており、地域内の消費機会や賑わいづくりには課題が残ります。また、若い世代の働く場やキャリアの選択肢が限られていることが、将来の担い手確保に影響を及ぼす懸念があります。

一方で、地域資源を活かした小さな事業者の挑戦も生まれており、こうした芽を伸ばしながら、地域に仕事を生み、定住・回帰につながる環境づくりを進める必要があります。

②後期の方向性・今後の取組

地域資源を活かした産業振興を進めつつ、働く場の確保と新しいチャレンジを後押しする環境整備を重点に取り組みます。若い世代が町内でキャリア形成し、住み続けたいと思える選択肢を広げます。

<今後の取組>

- ・地域商業の活性化（買い物・飲食等日常利便の向上）
- ・観光による交流人口の拡大と地域消費の促進
- ・小規模事業者の挑戦支援（小さな事業の芽を育てる）
- ・働く場の確保と新たな雇用機会の創出（定住意欲に直結）

③参考データ

区分	内容	出典
前期計画進捗	進捗率：74% 林業・工業は順調、商業・観光に伸びしろ。	前期進捗管理
住民意見（良いところ）	小さな挑戦の芽が生まれている	町民会議等
住民意見（課題）	飲食店・買い物場所不足 集まる場所不足 働く場の選択肢の限定	住民意見

3-1 農業振興

●ベンチマーク

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	説明
多面的機能支払交付金実施面積	346ha	356ha	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。
有害鳥獣防護柵設置済面積	472ha	500ha	鳥獣による農作物への被害が発生している農地に侵入防止柵を整備し、既存の捕獲檻の捕獲効率を高めるため。また、農作物被害による営農意欲減退を防ぐ。
新規就農者数	16人	30人	農業従事者の高齢化と減少が進む中で、将来の農業を支える担い手を育成・確保し、食料の安定供給と持続可能な農業・農村の発展を実現する。

3-1-1 持続可能な業基盤づくり



●概要

農地の保全・合理化・有効活用のため、岡山県農林漁業担い手育成財団（農地中間管理機構）と連携しながら、農地の流動化の促進を図り、担い手に面的に集積されるよう努めます。各種解消事業等による耕作放棄地の再生化に取り組み、農地の減少を最小限に食い止めます。農地の多面的機能と集落機能を維持するため、農業従事者が共同で農地の保全活動を行えるよう、老朽化した農業用施設の機能維持につながる原材料・重機借上補助制度の活用を促進します。

●後期計画における重点項目

農業の担い手不足による農地の遊休化防止、農業従事者の確保及び農地の保全を目的に、農業者が行う農業用機械の導入に要する経費に対し補助を行います。

●関連事務事業

多面的機能支払交付金事業、農業機械等導入支援事業、機構集積協力金事業

●関連個別計画

地域農業経営基盤強化促進計画、勝央町農業を有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

●協働機関

農業協同組合、農地中間管理機構、土地改良区

3-1-2 次世代につなぐ農業



●概要

UIJターン希望者への就農相談・体験研修の実施、生活支援など総合的な就農支援システムの構築を推進します。次世代の農業経営を担う新規就農者や認定農業者を支援し、創意と工夫により効率的・安定的な経営を目指す農業の担い手の育成・確保に努めます。

●後期計画における重点項目

関係機関との連携を強化し、研修中及び就農後の経営確立の支援を図るとともに、機械導入や施設整備に向けた補助事業を実施し、担い手の育成・確保を図ります。

●関連事務事業

新規就農者育成総合対策事業、就農促進トータルサポート事業、ハイブリッド産地育成推進事業

●関連個別計画

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（勝央町）

●協働機関

農業協同組合、農地中間管理機構、土地改良区



3-2 林業

●ベンチマーク

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	説明
間伐実施面積	118ha	135ha	森林整備を促進し、森林の有する多面的機能を図る。
森林経営計画認定面積	300ha	325ha	効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させる。

3-2-1 林業基盤の整備と連携強化



●概要

計画的な保育・間伐・造林を進めるため、林道・作業道の整備を促進し、作業の効率化や労働強度の軽減、生産コストの低減を支援します。また、森林環境譲与税を活用し、適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を林業経営者に集積・集約するとともに、それができない森林の経営管理を町が行うことで、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図り、森林施業の中核的な役割を担う森林組合等との連携強化を図ります。広葉樹等の植栽を推進し、天然生林の保全及び原生的森林の保全に努め、自然景観を考えた森林づくりを進め、森林空間の保健・レクリエーション機能を活用するとともに、町民と都市住民が一体となったボランティア活動などによる適正な管理を進め、森と共存する心を育てる運動の展開に努めます。

●後期計画における重点項目

森林組合等との連携を強化し、適切な経営管理が行われていない森林の適切な森林施業を実施し、健全な森林資源の維持増進を図ります。また、間伐等の森林整備や木材利用促進、林業事業体の意欲増進、森林整備の質の向上を図るために、森林環境譲与税の活用方法を検討します。

●関連事務事業

企業との協働の森づくり事業、間伐対策事業、林内作業道開設事業

●関連個別計画

森林経営計画、勝央町森林整備計画

●協働機関

森林組合、林業経営体、企業

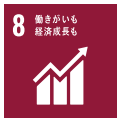


3-3 商工業・雇用

●ベンチマーク

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	説明
新規創業者支援件数(累計)	15件	25件	新たなチャレンジ(創業支援)を応援する。
雇用者数	6,385人	6,500人	地元雇用促進による就業機会の拡充を図る。

3-3-1 企業基盤づくりの支援と労働環境改善



●概要

既存企業の経営基盤の強化に取り組み、地域産業の振興及び育成並びに産業活力の再生を図るとともに、町内事業者が直面する後継者不足の現状や課題を把握し、事業継承に向けた支援策を検討します。また、若年層の就業支援の充実や進出企業の地元雇用促進による就業機会の拡充に努めます。

●後期計画における重点項目

商工会等との連携を強化し、事業者への指導・支援体制の強化を図るとともに、地域内でのにぎわい創出、経済循環に向けた取組を検討します。

特に、地元中小企業の課題の把握、地域内での経済循環に向けた流れづくりを行います。

●関連事務事業

新事業活動支援補助金交付事業、小規模事業者支援補助金交付事業、商工融資制度事業

●関連個別計画

岡山県中小企業振興計画

●協働機関

町内企業、みまさか商工会、津山圏域無料職業紹介センター、津山広域事務組合、岡山県産業振興財団、金融機関

3-3-2 新たなチャレンジを応援する（創業支援）



●概要

国の認定を受けた勝央町創業支援等事業計画に基づき、町内創業者に対し支援を行います。

●後期計画における重点項目

みまさか商工会勝央支所や金融機関等と連携しながら、セミナー開催や補助金等の支援を行います。特に新規創業者に対し、必要な支援を行います。

●関連事務事業

創業支援補助金交付事業、創業セミナー事業

●関連個別計画

勝央町創業支援等事業計画

●協働機関

みまさか商工会勝央支所、岡山県産業振興財団、金融機関



3-3-3 企業団地の既存企業の支援、誘致



●概要

工業の活性化のため、関係機関や企業等と連携しながら、相談や情報提供体制を強化するとともに、既存立地企業の事業拡大や生産性向上に向けた取組を支援します。また、新たな企業誘致を図るための方策について、引き続き検討を行います。

●後期計画における重点項目

既存立地企業と連携を強化し、企業ニーズに対応します。特に既存立地企業のニーズ把握に努めます。

●関連事務事業

企業立地促進奨励金交付事業、企業立地相談窓口

●関連個別計画

岡山県基本計画（地域未来法）、岡山県中小企業振興計画

●協働機関

既存立地企業



3-4 観光

●ベンチマーク

指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	説明
ノースヴィレッジ来訪者数(年間)	14万人	30万人	観光による交流人口増加を図る。

3-4-1 観光資源の再構築と活用促進



●概要

ノースヴィレッジを中心とした観光資源について、観光客、観光事業者、町民が安全・安心に滞在し、交流することができる施設として、観光イメージ形成と認知度向上を図ります。また、県北市町村の観光施設と連携した広域観光ネットワークの形成を図り、周辺地域の観光資源を巡る散策ルートの開発等により、地域回遊性のある観光地づくりに努めます。勝央町マスコットキャラクター「きんとくん」を大使として各イベントや観光キャンペーンに派遣し、積極的に町のPRを行います。

●後期計画における重点項目

近隣市町村及び観光施設との連携を強化し、ノースヴィレッジを中心とした地域回遊性の向上を図ります。

また、ノースヴィレッジについては、園内各施設の老朽化が進行していることから、施設ごとに対応方針を検討し、町民が安全・安心に滞在し、交流することができる施設として維持していきます。

●関連事務事業

観光資源整備事業

●協働機関

指定管理者、美作国観光連盟



3-5 消費者行政

3-5-1 消費者支援と教育の強化



●概要

専門的知識を持った相談員が対応する相談日を設け、消費生活をサポートする相談体制を確立します。小・中学生を対象とする消費者教育を推進するとともに、高齢者を中心とした詐欺被害防止の注意喚起、啓発を推進します。

●後期計画における重点項目

専門相談員による消費生活相談を継続的に実施します。町民の消費生活トラブルをサポートする相談体制を確立しています。

年代に即した消費生活の活性化とトラブル未然防止の啓発活動に努めます。

●関連事務事業

消費者行政活性化事業

●協働機関

岡山県消費生活センター